

ちびっこ  
ギャウリー



厚内幼稚園のみんな  
節分のおにのお面と  
つのはこをつくりました。  
はこにたくさん豆をいれて  
おにたいじ。  
おには～そと!

俳句  
ことぶき俳句会

寒風やいつも動かぬ観覧車  
体調を気にかける姉と小正月  
梅漬けの種が真つ赤ぞ京の冬  
寒行の太鼓聞きつつ臥しており  
晩年というはおそろし冬の薔薇  
「あやひめ」という名の玄米寒厨  
冬帽子椅子に残して客帰る  
冬日暮れ鉢のパセリを濃く刻む

大山さよ子  
越坂 順子  
徳地はつ子  
橋本 葉子  
福澤 米子  
福原 仁子  
宮部あき子  
高橋 悦子

川柳  
浦幌川柳会

課題吟 窓  
恵方巻を食べて窓辺の星を見る  
窓ガラス冷たくさえる冬の月  
帰り来ぬ子等のメールに窓は雪  
母の背を心の窓を広く開け  
ほのぼのと併せの窓拭き続け  
日脚延び窓辺で二人お茶を飲む  
孫ヒコの希望の窓に蔦が這う

竹村 鮮明  
星 愛子  
加藤 未貴  
橋本 葉子  
阿部 麗紅  
山村 幹雄  
白木二十重

短歌  
浦幌短歌会

みんなの  
みんま

毎日が初体験の我が体どこまで続く年は明けたり  
ベルサイユの花園に咲く矢車菊を思いて苗に水を注ぎぬ  
光ファイバーの中継所が建つ枯草に杭打機の音鴉も鳴ける  
亡き姑のみやこおししの暖かさ幼なとともに除夜の鐘撞く  
公園に誰か放置の自転車よ雪を冠りて主を待ちおり  
「おぼろ月」道産米を買って見る一合たきてまずまずと思う  
もどりきて三十年を過ぎし町生れ故郷でないと言いつつ  
風花にのりて聞こえる夫の声年金暮し共に励ます  
続けたる五年日誌を一年に変えてちりゆく早きひととせ  
おやすみと言えばあなたの耳に届く距離をほんのり確かめている

川柳  
上浦幌句の会

自由吟  
枯れ枝に鳥が一羽年の暮れ  
八十路坂薬たよりに日々生きる  
税調は庶民の方をちらつと見  
レントゲン子の病む心うつせない  
湯上りで体重計にそつと乗る  
人口減吹く木枯らしシヨボイ町  
直系の女性天皇望む我れ  
最近はおいも若きも背にリック

河村みよ子  
山田 ナツ  
大西 功  
山田エツ子  
福田すま子  
芳川 乙美  
朝日ヒロエ  
笹島カヨ子

米司 好美  
柴田 弘子  
高橋 悦子  
福澤 米子  
長谷川アキ  
山崎 阿己  
山口 恵子  
星 愛子  
後藤 年子  
北野 桃子

## INFORMATION

### 人のうごき

平成 19 年 1 月 31 日現在

- 人口 / 6,176 人 (-7)
- 男 / 2,973 人 (-5)
- 女 / 3,203 人 (-2)
- 世帯数 / 2,506 戸 (+2)
- 出生 3 人    ○転入 9 人
- 死亡 4 人    ○転出 15 人
- ※ 1 年前の人口 6,353 人
- ( ) 内は前月比

### 交通事故発生状況

平成 19 年 1 月 31 日現在

- 発生 1 件 (前年比 +1)
- 死者 0 人 (前年比 ±0)
- 傷者 1 人 (前年比 +1)
- 事故死者ゼロ日数 151 日

### 消費生活相談

平成 19 年 3 月

浦幌消費者協会では悪質商法など、消費生活にかかわることについての相談を実施しています。

- 6日(火)・20日(火)
- 10時～12時、13時～15時
- 浦幌中央公民館
- 1階小会議室(内750)

### 日曜救急当番医院

平成 19 年 3 月

診療時間は10時から16時までです。急患に限ります。

- 4日、18日
- 多田医院
- 11日、25日
- 町立診療所
- ※都合により当番医は変更になる場合があります。

## COLUMN

「ヤッバいくらいに楽しかったよ!!」  
 国立大雪青年の家主催の小学生向け宿泊イベントから帰って来たうちの息子(小4)は、開口一番そう言いました。

息子は、そのとき、あれこれ面倒を見てくれた、高3男子のボランティア・「石井ちゃん」が大好きになっちゃったのです。

「石井ちゃんがこういってた」「石井ちゃんにこうしてもらった」と、ことあるごとに口に、今でも、もう一度彼に会いたくてたまりません。

私は、正直、そんな感想が飛び出すとは全く予想していませんでした。むしろ、このようなイベントの案内を学校からもらったたび、「これって、結局、大人の自己満足で、実際のところ、当の子どもたちは、こんなのに参加するより、仲間同士でゲームをしていたほうが楽し

### 子育てコラム

今どきゲームもテレビもない中で子どもをたちをこんなにも楽しませることができる若者パワーに脱帽です。

いんじゃないの」「なんて醒めた目で見ていたのです。しかし、冒頭の息子の言葉に、その考えは完全に覆されました。

ゲームどころかテレビさえ無い中で、子どもたちを「ヤッバいくらい」に楽しませることが出来るなんて！運営の中心である施設ボランティアの若者パワーに、ただただ敬服しました。脱帽です。

また、旭川市では、旭川大学柔道部の学生が、地域の安全ボランティア、子ども見守り隊を組織して、週1回、通学路に立って子どもたちを見守ってくれています。そして、積極的に挨拶を交わすなかで、

## 男だって子育て!?

その⑩ パパじゃなくたって子育て

1988年立教大学卒。雑誌記者を経て結婚。3人の子どもを育てながら子育て支援を独学。カナダ・ライオンズ大学レイモンド・チャンスクール家庭支援職資格認定課程を通信教育で修了。2003年より日本で最初&唯一のファミリーライフエデュケーターとして活動中。

■ホームページ <http://homepage3.nifty.com/mami-file/index.htm>

columnist

林 真未 (はやし・まみ)



「ねえねえ、今日学校でね…」と話し掛けられたり、ふざけて雪玉を投げられたりしながら、子どもたちとも、だんだん仲良くなっていって、

「ただ、ただ立っているだけです。自分たちの活動がとこまで役に立っているのか……」

と、学生さんはいいます。けれど、安全確保という面だけでなく、日常的に、少し年上のお兄さん(お姉さん)と触れ合う機会がある、というのは、今の時代、小学生にとっても、こんなに貴重なことです。

一見、子育てから一番遠いところにいる十代・二十代の若い男の子たちですが、実際には、子どもたちの活躍してくれる人が、こんなふうにあちこちにいる、というのは本当に嬉しい限り……。

「男の子育て」は、父親の専売特許ではないんですね!